

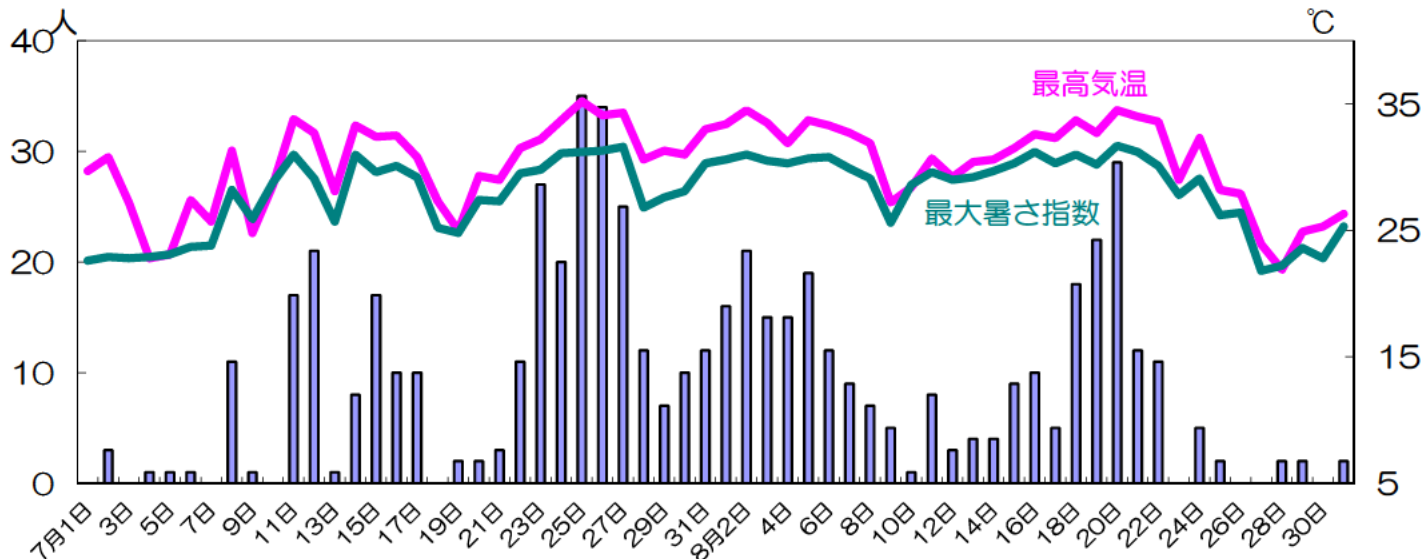
熱中症情報

<搬送人数>

平成26年5月1日～8月31日までの救急搬送数は、計633人（5月11人、6月52人、7月302人、8月268人）です。

立秋（8/7）を過ぎ救急搬送数は、減少しましたが、8/15以降、最高気温が30℃（暑さ指数も連日30℃以上）を超える日が続き、増加しました。しかし、8/23以降、最高気温も下がり、5人以下と減少しています。

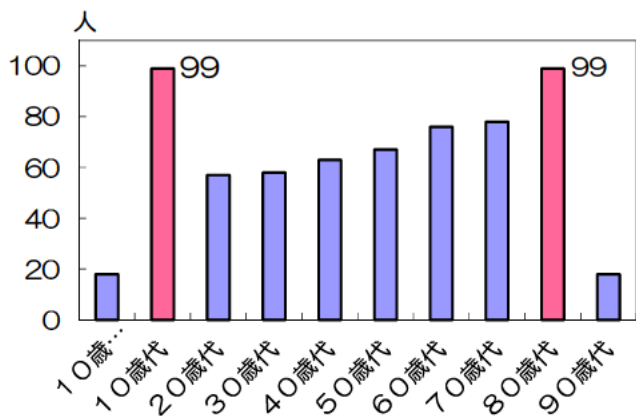
夏の疲れが出る頃ですので、体調管理に気をつけ、熱中症にならないよう、注意しましょう。



暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
詳細は「環境省熱中症予防情報（暑さ指数（WBGT）について学ぼう）」をご覧ください。

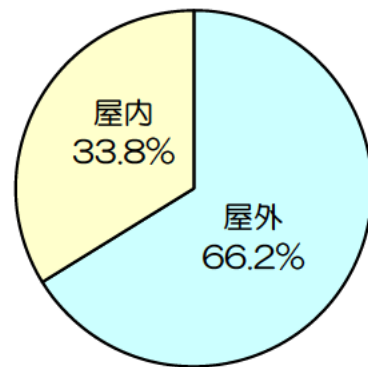
<年齢別>

年齢別では、10・80歳代に多く、15.6%を占めていました。



<発生場所>

屋外66.2%、屋内33.8%でした。



<重症度>

軽症 62.1%、中等症 33.3%、重症 4.1%、重篤 0.5%でした。重症以上は29人（屋内17人で、そのうち70歳以上は12人（71%））で、屋内での高齢者の重症化傾向が見られます。

